

千葉市におけるキャリア教育の取組

1 キャリア教育の目的 (中央教育審議会答申より)

- 学校と社会及び学校間の円滑な接続を図るため、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせる。
- 自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力を小学校から発達段階に応じて育成する。
- 一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す。

2 取組の概要

(1) 昨年度までの課題

- ア 職場体験学習の体験先の選択肢が固定化している。また、体験先の確保も困難となっているなか、職場体験の在り方を見直す必要がある。
- イ 生徒や保護者への産業系専門高校の周知と理解をより深める必要がある。
- ウ 小・中学校を通じた体系的なキャリア教育を推進する必要がある。

(2) 今年度の取組み

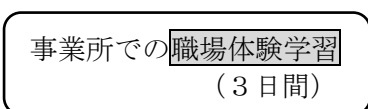
ア 職業体験学習の実施 (職場体験から職業体験への転換)

<ねらい>

- 児童生徒が自己の将来について考える機会を増やし、進路選択の幅を広げる。
 - ・職場に出向くだけでなく、企業等が学校訪問することにより、多様な進路選択ができるような機会を増やす。
 - ・小学校にも職業体験学習を導入し、進路選択に必要な能力を育む。

<経緯>

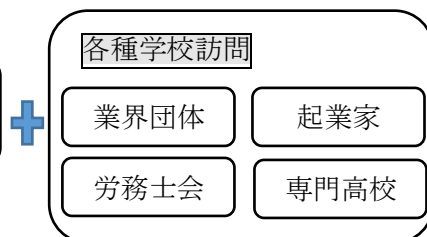
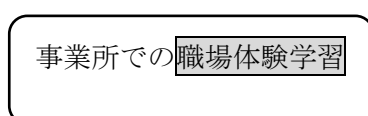
【平成30年度まで】



- 体験先が中学校の近隣であり、依頼する職種も固定化
- 地域により、体験先の確保が困難



【令和元年度より】



- ・企業等による出前(体験)授業
- ・「学校キャラバン」
国土交通省 建設業振興基金
- ・手づくりみらい教室
千葉県職業能力開発協会
- ・ワークルール教室
社会保険労務士会
- ・産業系専門高校による学校訪問 等

職業体験学習 (3日間以上の実施)

参考資料① 職場体験の実施状況

平成 30 年度末：中学校全校実施（実施学年 1 年：2 校、2 年：53 校）

職場体験先（人数の多い業種から）：小売、幼稚園・保育所、飲食、公共、スポーツ施設、
介護、自動車、病院、コンビニ、美容・理容・ブライダル、学校等

※小売または幼稚園・保育所での体験生徒で約 4 割を占める

参考資料② 企業等による学校訪問（出前授業）

年度	実施校数	実施した企業等
H 2 9	中学校 5 校	建設、福祉、美容
H 3 0	中学校 1 1 校	建設、福祉、ホテル、報道、ハローワーク等
R 1	小学校 3 6 校	建設、福祉、食品、銀行、公務員、起業家等
	中学校 2 5 校	公務員、ホテル、自動車、ハローワーク、起業家等

参考資料③ 「学校キャラバン」児童の感想

- ・ドローンは飛ばして遊ぶものだと思っていたけれど、農業や建設業にも役に立っている新しい技術だということがわかった。
- ・VRの津波体験は目の前で襲ってきて怖かったが、家族で津波に備えたいと思った。
- ・シヨベルカーの操作が複雑そうだった。安全に気を付けて仕事をするのは大変だと思った。

イ 産業系専門高等学校の特色等の周知

<経緯>

【平成 30 年度まで】

○進路ノートの配付 ※令和元年度も配付

「わたしの夢」（中学 1 年生）

「ハローマイフューチャー」（中学 3 年生）

【令和元年度より】

○産業系専門高等学校を紹介するリーフレット「千葉市の専門高校ガイド」を作成、中学 3 年生
徒及び保護者への配付と啓発

・配付したリーフレットを活用して、特別活動の授業等で進路学習を実施

・保護者には、生徒を通して配付

※令和 2 年度は、中学 2 年生及び中学 3 年生へ配付予定

○専門高等学校による学校訪問の強化

参考資料④ 専門高等学校(千葉商業、千葉工業、京葉工業)による学校訪問

年度	H 2 9	H 3 0	R 1
実施校数	中学校 5 校	中学校 6 校	中学校 1 4 校

参考資料⑤ 学科別進学状況

	H30 卒業生	H31 卒業生	増減
普通科	88.2%	85.2%	-3.0%
工業科	3.9%	4.4%	+0.5%
商業科	4.1%	4.4%	+0.3%

ウ 小・中学校の連携を意識したキャリア教育の推進

<経緯>

○平成30年度より鶴沢小学校と葛城中学校を研究校に指定をし、2年間にわたり実践を行った。

①キャリア教育を通して育てる能力を、発達段階に応じて目標を定め共有。

・学校キャラバン(小学校)→職業調べ・職業体験学習(中学校)

・「ちょこっとキャリア」…全教育活動にキャリア教育の視点を意図的に入れ、各教科等での学びが、一人一人のキャリア形成や、よりよい社会づくりにつながっていることを意識させる。

②キャリアパスポートの活用。

・小学校で活用し積み重ねたキャリアパスポートを、中学校でも活用する。

③学校行事の交流を通して、キャリア形成を図る。

・中学校の合唱コンクール等を小学6年生が見学し、中学校生活への夢を描くきっかけにする。

○令和2年度以降も研究校を指定し、その成果を市内小・中学校の実践につなげる。

3 成果と課題

(1) 成果

・小学生においては、発達段階に応じた実践により、実生活と職業との結びつき等について、見方を広げることができた。

・中学生においては、産業系専門高校への進学率がやや増加した。

(2) 課題

ア 体系的なキャリア教育を具現化していく必要がある。

イ 経済農政局や千葉労働局等との連携による、職場体験先や派遣する企業等を拡充する必要がある。

ウ 経済農政局との連携による、将来の千葉市の経済、地域産業を支える人材育成を行う必要がある。

エ 企業のイメージアップへ貢献する必要がある。

4 今後の取組に対する検討事項

- (1) 将来の千葉市の経済、地域産業を支える人材育成をしていくために
 - ア 雇用ニーズの周知
 - ・保護者に雇用のミスマッチをどのように伝えるか
 - イ 「STYLE S (技術職・技能職の魅力啓発冊子)」の活用

- (2) 小中学校におけるキャリア教育を推進するために
 - ア 職場体験先や出前授業で派遣する企業等の拡充
 - ・学校のニーズにどのように合わせるか
 - ・協力団体の団体リストをどのように作るか
 - ・継続して協力いただくための工夫はないか
(例えば、出前授業の様子を広報誌等で紹介して企業のイメージアップを図る)
 - イ 小中学校の連携のあり方について
 - ・小中学校の段階で、どのようなキャリア意識の形成が望ましいのか
 - ・保護者にどのように情報提供をするか

「千葉市の教育に関する大綱」(平成28～33年度)

- ・市民の生活基盤確立と都市を支える人材の育成・確保のため、経済部門等と連携し、雇用等の社会ニーズを踏まえた取組みが進むよう、職業体験や進路指導體制の充実など、教育課程でのキャリア教育の見直しを進めます。
- ・加えて、実社会に出た後に知識や技術を身に付けることができる環境を整えるなど、市民への生涯を通じたキャリア教育を推進します。

第2次学校教育推進計画

(平成28～33年度)

1 確かな学力を育てる

1-2 未来へ飛躍する力の育成

2 豊かな人間性を育てる

2-2 社会的自立に向けた強い心の育成

※社会ニーズに応じたキャリア教育の推進

社会的・職業的自立に向けて必要な意欲・態度や能力を育てるため、児童生徒の発達段階に応じ、一人ひとりが自己の進路・将来を主体的に考える小・中・高等学校を一貫した体系的・系統的なキャリア教育*を実践します。

特に、産業界など社会のニーズを捉える仕組みを確立し、これからの時代に求められる人物像や資質・能力の育成を図ります。

第5次 生涯学習推進計画

(平成28～33年度)

2 多様な学習機会の確保

2-2 市民ニーズに対応した学習機会の提供

就業前の児童・生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な意欲・態度や能力を育てるとともに、地域の企業等の事業への理解を深めてもらうために、職業に関する学習や職場体験等のキャリア発達を促す体験活動を地域の様々な機関と連携して行います。また、大学、専門学校等の高等教育機関と連携して資格取得のための講座等の情報提供やeラーニングを活用した就労や学び直し・キャリアアップに寄与する学習機会の提供など、個人生活の向上と共に、市民生活や地域産業経済を支える人材の育成にもつながる、キャリア教育を推進します。

(参考) 平成29年度 千葉市学校教育の課題「21世紀を拓く」(千葉市教育委員会学校教育部)

キャリア教育・進路指導の目標

- 自己の進路・将来を主体的に考えることができる力を育成する指導の充実を図るとともに、社会的・職業的自立を目指し、児童生徒一人一人のキャリア発達を促す教育活動の充実を図る。

キャリア教育・進路指導の方針

- 小学校・中学校におけるキャリア発達

小学校：(進路の探索・選択にかかる基礎形成の時期)

自己及び他者への積極的関心の形成・発展、身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上、夢や希望・憧れる自己イメージの獲得、勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成に努める。

中学校：(現実的探索と暫定的選択の時期)

肯定的自己理解と自己有用感の獲得、興味・関心等に基づく勤労観・職業観の形成、進路計画の立案と暫定的選択、生き方や進路に関する現実的探索に努める。

参考資料⑦ 志願者（受験者）の状況

(%)

		平成29年度	平成30年度
千葉工業	千葉市	33.7	42.2
	その他	66.3	57.8
京葉工業	千葉市	63.2	67.4
	その他	36.8	32.6
千葉商業	千葉市	55.5	59.7
	その他	44.5	40.3

参考資料⑧ 職種別有効求人倍率の経年変化（千葉労働局管内）

(倍)

	H29.9	H30.9	R1.9
専門的・技術的職業	1.71	1.88	1.83
事務的職業	0.32	0.33	0.34
販売の職業	1.23	1.23	1.25
サービスの職業	2.67	2.84	2.84
生産工程の職業	1.78	1.96	1.89
輸送・機械運転の職業	1.80	1.94	2.13
建設・採掘の職業	5.16	6.35	6.98

※1倍を超えている＝人手不足が生じている